

●1993年世界アルペン「盛岡・雫石」決まる
**ビッグイベントに
143万県民が挑戦者**

1993年アルペンスキー世界選手権大会の開催地に「盛岡・雫石」が決定した。6月11日、イスタンブール（トルコ）で開かれた国際スキー連盟（FIS）総会で決まったものでアジアでは初の開催となる。

世界で最高水準のスキーエリアとして認められた岩手。約900人の世界のトップスキーヤーと、10万人を超すといわれる観客が集うビッグイベントまで、あと5年。岩手が国際舞台にデビューするまで、そう長い時間はない。

岩手が世界に羽ばたく絶好の機会であり、県民の期待と夢が大きく広がっている。

世界各国と岩手の人々が交流する大会へは、143万県民のすべてが挑戦者となって取り組み、大会の成功を目指していかなければならない。

参加選手の競技水準はオリンピックと同レベルで、アルペン競技の真の王者を決めるビッグイベントである。

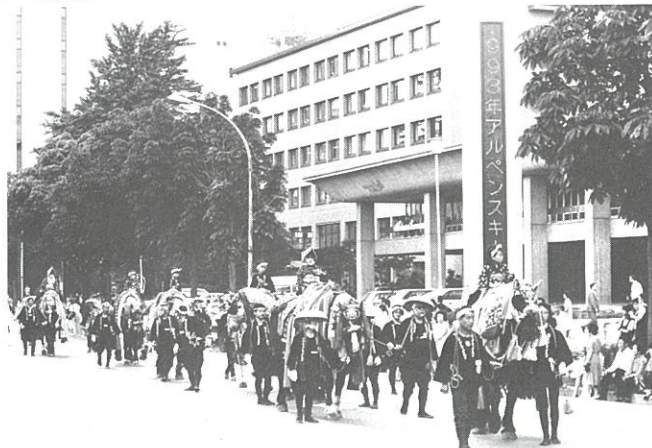
大会の会場は雫石スキー場（岩手郡雫石町）。昭和68年2月下旬に開催される予定。

種目は滑降（ダウンヒル）、回転（スラローム）、大回転（ジャイアントスラローム）、スーパー大回転、コンビネーション（滑降と回転）で各男女の競技が行われる。

2年に1回の開催で、1989年（昭和64年）はバイル（米国）、1991年（昭和66年）にはザールパッサ（オーストラリア）が決定している。



決意 国際舞台に初名乗り。誘致成功の記者会見を行う中村知事。堤義明全日本スキー連盟（SAJ）会長（右側）―東京・新高輪プリンスホテル



祝福 快晴の6月15日、初夏の風物詩・チャグチャグ馬コも喜びの音高らかに行進（盛岡市）



熱意 立候補から8カ月。粘り強く運動を展開した誘致派遣団の努力が、県民の熱意を世界にとどけた（イスタンブール）



感激 世界アルペン開催決定に万歳!! 開催地・雫石町「白銀の会」会員と役場の皆さん（雫石町）